

標準日本語中級下册 第三十八課

本課題文

教えることは教わることだというが、日本語を外国人に教えてみると、彼らから日本語について教えられ考えさせられることが多い。

「先生、日本人、『さようなら』といいませんね。」

「へえ？」

「good bye のことですよ。人と別れるとき、『さようなら』って言うのでしょう。国で習いました」

「いや、『さようなら』って言いますよ。」

「でも、学生たち、使いませんね。」

「何て言いますか。」

「バイバイ」

なるほど。親しい者同士、特に若い人たちが「バイバイ」とか、「バイ」とかといって、手を振って別れることが多い。年輩の私などでも使うことがある。幼児に向かっては当然のように言う。一般の辞典の中には「バイバイ bye bye (俗語) 『もと、幼児語』 さようなら」と解説するのもあるが、掲出していないものもある。日本語教育の教科書にも、普通は出ていない。いわゆる教室日本語と生活日本語の違う所なのである。

「先生、『はい』と『ええ』と、どう違いますか。」

「『はい』の方が丁寧な返事ですね。」

と答えたものの、それだけかな、と気になった。それで考えてみて気がついた。これは案外大事な問題のようだ。

まず、「はい」も「ええ」も肯定の返事に使える点では共通している。

「お土産に果物を持って行ってあげようか。」

「はい、持って来てください。」

と言うときの「はい」は「ええ」とも言える。「はい」のほうが、少し丁寧。あるいは、かしこまった感じがあるだろう。

「作文、もうできた」とか、「明日の会に出ますね。」とか、「旅行、好きですか？」などと聞かれたときに「はい」「ええ」の両方が使える。ところが、

「そこにいるのは誰？」 「はい、三郎です」

と言うときの「はい」を「ええ」と言うのは変である。

「おはようございます」 「はい、おはよう」

「じゃあ、さようなら」 「はい、お気をつけて」

などの「はい」を「ええ」ということもできないだろう。

これらから考えて、次のようなことがいえるのではないか思う。

「はい」は、相手の言葉を受け止めたと言う意味の返事なのに対して、「ええ」は、相手の言葉を受け止め、さらにその内容を承認し肯定すると言う意味の返事である。「誰？」とか、「いつ？」とか、と聞かれるときに、その内容を承認する肯定するとかと言うことはあり得ない。だから、「はい」は使えるが、「ええ」は使えない。「おはよう」とか「さようなら」とか、挨拶されたときに、その内容を承認するとか肯定するとか考えること自体、変なものだ。だからこの場合にも「ええ」は使えない。

さっきに「はい」も「ええ」もともに使える場合は、「肯定の返事」として「共通している」と言ったが、これは、「はい」が文脈上、自然に肯定の意味をも表すようになっている場合なのだ。

ここまでが私の一応の結論だったのだが、しかしさらに考えてみると、「はい」にも「ええ」にも、返事ではなくて相槌を打つ用法があって、紛らわしい。承認してくれた返事、肯定の返事だと思ったものが、単なる相槌だったとしたら、たいへんな誤解を生むだろう。欧米人は、余り相槌を打たないで相手の言葉に聞き入る傾向がある。相槌を打つにしても yes の類は使わないようだ。そのため、欧米人から、「日本人はよく yes yes と言うけれども、実は、肯定しているわけでも、賛成しているわけでもない。言うこととすることと違う」と非難されることがある。相槌の「はい」も「ええ」も yes に当たると思って気楽に yes を使うことが、国際的な不信感を生むものになる。場面にもよるだろうが、軽々しく yes を使ってはならないのだ。

「先生、『夢を見る』は慣用句ですね」

と言われてはった。慣用句の問題を、留学生を交えて教室で話し合っているときに、ある中国人留学生が聞いたのである。

慣用句は「決まり文句」の一種だが、例えば、「羽を伸ばす」は、鳥がのびのびと羽を伸ばすと言うもとの意味から離れて、人が制約を脱してのびのびとする。気ままに振るまうという意味に使われる。このような比喩的な慣用句には、「腹が立つ」（怒る）「心を打つ」（感動する）「鼻にかける」（自慢の種にする）などがある。

これらに対して、ごく普通の決まった言い回しの慣用句がある。「電報を打つ」「嫌気がさす」「気がつく」などである。これらは比喩的な慣用句とは違って、もとの意味を失っていないが、語と語の結び付きかたが決まっているものである。「夢を見る」もこのたぐいの慣用句だと言うのである。われわれ日本人にとって、「夢」は「見る」以外のものではない。「いやな夢を見た」「夢に母を見た」などと使う。「夢のない時代」「夢と知っていながら」などとも使うが、その「夢」自体、「見る」ものと思いついでいる。余り当たり前で気がつかないでいたのである。

「中国語では『夢ヲスル』（做梦）と言うんです。『夢を見る』と言わないので、面白いと思いました。」と、その学生が付け加えた。数カ国の留学生を聞くと、中国語式の言い方をする言語もあるし、英語の“dream”のように一語で表す言語もある。日本語式に「見る」を使う言語もある。いろいろだということをお教えされた。

课文词汇

词汇 I

- さよなら (3)(4) [寒暄] 再见 = さようなら
- good-bye (1) [寒暄] 再见
- バイ (1) [寒暄] 再见
- 年輩 (ねんぱい) (0) [名] 年长
- 辞典 (じてん) (0) [名] 词典
- bye-bye (1) [寒暄] 再见
- 俗語 (ぞくご) (0) [名] 俗话, 通俗说法
- もと (1) [名] 原来
- 掲出する (けいしゅつする) (0) [动 3] 揭示, 公布, 列出
- いわゆる (3) [连体] 所谓
- 案外 (あんがい) (1) [副] 没想到, 意外
- 肯定 (こうてい) (0) [名] 肯定
- 点 (てん) (0) [名] 点
- かしこまる (4) [动 1] 拘谨, 恭敬
- 作文 (さくぶん) (0) [名] 作文
- 変だ (へんだ) (1) [形动] 奇怪, 异常
- じゃ (1) [感] 那么
- 受け止める (うけとめる) (4) [动 2] 接住, 阻止

承認する (しょうにんする) (0) [动 3] 认可, 承认
自体 (じたい) (1) [名] 本身
文脈 (ぶんみゃく) (0) [名] 文理
一応 (いちおう) (0) [副] 大致, 暂且
相づち (あいづち) (0) [名] 随声附和
用法 (ようほう) (0) [名] 用法
紛らわしい (まぎらわしい) (5) [形] 纷乱, 混淆
単なる (たんなる) (1) [连体] 单纯
誤解 (ごかい) (0) [名] 误解
欧米人 (おうべいじん) (3) [名] 欧美人
聞き入る (ききいる) (3) [动 1] 倾听, 专心听
yes (2) [寒暄] 是
類 (るい) (1) [名] 类
気楽だ (きらくだ) (0) [形动] 轻松安乐, 随便
国際的だ (こくさいてきだ) (0) [形动] 国际性的
不信任感 (ふしんかん) (2) [名] 不信任感
軽々しい (かるがるしい) (5) [形] 轻易
慣用句 (かんようく) (3) [名] 惯用语
はっとする (0) [动 3] 一怔, 突然
交える (まじえる) (3) [动 2] 夹杂
伸ばす (のばす) (2) [动 1] 伸展
のびのび (3) [副] 无拘无束, 舒舒服服
制約 (せいやく) (0) [名] 必要条件, 限制
脱する (だっする) (3) [动 3] 脱离, 摆脱
気ままだ (きままだ) (0) [形动] 随便, 任性
比喩的だ (ひゆてきだ) (0) [形动] 比喻
自慢 (じまん) (0) [名] 自满, 自大
種 (たね) (1) [名] 种子, 原因
言い回し (いいまわし) (0) [名] 说法, 措词
いや気がさす (いやげがさす) (0)+(1) [惯用] 不耐烦, 厌烦
語 (ご) (1) [名] 词
たぐい (0) [名] 类, 同类
思い込む (おもいこむ) (4) [动 1] 坚信, 认准
付け加える (つけくわえる) (5) [动 2] 补充, 附加
数か国 (すうかこく) (3) [名] 几个国家
dream (2) [名] 梦
宮地裕 (みやじゆたか) (1)+(1) [专] 宫地裕 (人名)
三郎 (さぶろう) (0) [专] 三郎 (人名)
…点で (てんで) …得ない (えない) 数か～ (すうか)

词汇 II

貝 (かい) (1) [名] 贝, 贝壳
染料 (せんりょう) (3) [名] 染料
弦楽器 (げんがっき) (3) [名] 弦乐器

売れ残る（うれのこる）(4) [动 1] 卖不出去
釣る（つる）(0) [动 1] 钓，诱骗
かけ忘れる（かけわすれる）(4) [动 2] 忘锁
振り向く（ふりむく）(3) [动 1] (转身)回头
トランプ (2) [名] 扑克
提案する（ていあんする）(0) [动 3] 提议
行ってきます（いってきます）(5) [寒暄] 我走了
ただいま (4) [寒暄] 我回来了
お帰りなさい（おかえりなさい）[寒暄] 您(你)回来了

课程译文

第 38 课 日语与国际交流

宫地 裕

人说教学相长。在教外国人学习日语时，往往在日语方面被他们所教，受到启发。老师，日本人不说'XXXX 吧？'。

“什么？”

“就是'good - bye'啊，和人分别时，要说'XXXX'吧。在国内学过。”

“不，说'XXXX。”

“可是，大学生们都不用呀。”

“那说什么？”

“XXXX”

是啊，亲近的同伴，特别是年轻人多说“XXXX”或是“XX”而挥手告别的。像我这样上了年纪的人有时也用。对儿童说就更理所当然了。一般词典也有的解释为“XXXXbye-bye（通俗说法）〔原为儿童用语〕再见的意义。”但也有不列这个词，用于日语教学的教材一般也不出现。这就是所谓教学日语与生活日语的不同之处。

“老师，'XX'和'XX'有什么区别呢？”

“'XX'是比较礼貌的回答。”

虽然这么回答，心里却又嘀咕，仅此而已吗？于是思考一下，发现这似乎是个忽略了的重要问题。

首先，“XX”和“XX”的共通点是都可以用于肯定的回答。

“XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX。（带些水果送给你作礼物吧）。”

“XXXXXXXX（好，请带来吧）”这时自“XX”也可以改说“XX”。“XXXX”比较有礼貌，或者说有恭敬之感。当被问到“作文写好了吗？”“您出席明天的会吗？”或“喜欢旅行吗？”等时，“XX”和“XX”均可使用。可是说：“XXXXXXXXXXXX。（谁在那儿？）”

““XXXXX。（诶，是三郎）。”的时候，把“XXX”说成“XXXX”就不自然了。

“XXXXXXXXXXXX。（早上好！）”

“XXXXXXXX”（噢，早！）”

“C 中，合上众中八那么，再见！）”

“XXXXXXXXXXXX”。（好，请多当心！）等句中的“XXXX”也是不能说成“XXXX”吧。

这么一想，不是可以照下面这么说吗。

“XXXX”是应酬对方话语的回答，而“XXXX’则是在应酬对方谈话的同时认可其内容并给予肯定意义的回答。当被问到“谁？”或“什么时候？”时，不需要认可其内容

或者肯定什么，所以能用“XXXX”而不能“XXXX”。说“早上好”或“再见！”这种寒暄话时，考虑认可或肯定其内容本身就不合常理，

所以这种场合也不能用“XXXX”。

刚才说过，“XXXX”和“XXXX”都可以使用的场合是它们在“肯定的答复”这一点上是共同的。但这是指在文理上“XXXX”也自然地表示肯定意义的场合。

以上暂且算是我的结论吧。可是又一想，“XXXX”和“XXXX”都不仅是答复，还有随声附和的用法，容易混淆。如果以为对方承认了，给了肯定的答复，而实际上只是单纯的随声附和，岂不要产生重大误解。欧美人倾向于听对方谈话时不随声附和。即使随声附和也不用“yes”之类的词。为此，他们有时责怪说：“日本人常说‘yes’，‘yes’。可实际上既不肯定，也不赞成，言行不一致。”把意为随声附和的“XXXX”和“XXXX”当作“yes”随意使用，是造成国际性不信任感之源。或许使用的场合也有关系，但切不可轻易使用“yes”。

“老师，‘XXXXXXXX’是惯用语吧？”

听了这话，我不由得一怔。这个问题是在有留学生参加的教室里讨论惯用语问题时，一个中国留学生提出来的。

惯用语是套语的一种，有各种形式。例如“XXXXXXXX”，它已脱离了鸟儿舒展翅膀的原意，用于比喻摆脱束缚，自由自在、随心所欲的意思。像这样用于比喻的惯用语，还有“XXXXXXXX（感动）”

“XXXXXXXX（自豪）”等等。

与之相反的有极其一般的措辞固定的惯用语，如“XXXXXX（打电报）”“XXXXXX（厌烦）”和“XXXXXX（留神）”等。这些与比喻性惯用语不同，并没有失去原来的意义，但词与词之间的搭配却是固定的“XXXX”也属于这类惯用语。对我们日本人来说，“要”只能是梦见（見）的东西，用于“XXXXXXXXXXXX（做了个讨厌的梦）”“XXXXXXXXXXXX（梦里见到了妈妈）”等虽然也用于“XXXXXXXXXXXX（毫无希望的时代）”“XXXXXXXXXXXX（明知是幻想）”的说法。但我们仍认定“梦”本身就是“梦见”的东西，司空见惯，所以反而忽略了它。

那位学生补充说：“中国是说‘做梦’。一般不说“XXXXXX（看梦），所以觉得挺有意思”。我问了几个其他国家的留学生，即有类似中国式的说法

也有象英语那样用“dream”一个词来表示的，还有用日语式的“XXXX”的说法。我学到了各种各样的说法。

课文语法

文法：

1、…点（は）…

バイオリンとギターは、弦楽器であると言う点で同じだ。

中国語と日本語は、漢字を用いる点で、共通している。

男性と女性は、体力の点で、違いがある。

2、…得る/得ない

商品が売れ残ることはあり得ない。

この工場が閉鎖されることはあり得ない。

この川で魚が釣れることはあり得ない。

言葉の使用の仕方：

- 1、いや：『この小説はとても面白いよ。』『いや、僕はそう思わない。』
- 2、はっとする： 駅で、家の鍵を掛け忘れたことにはっと気がついた。
- 3、嫌気がさす： 仕事がつまらないので、会社に嫌気がさした。
- 4、自体： 提案した彼自体、余り積極的ではない。
- 5、分かれるときと合うときの言葉： ii

ごめんください

いらっしゃい

失礼します

行ってきます

行ってらっしゃい

ただいま

お帰りなさい